等が入つて模様である。而しれ等軍需品のなかには高射砲にはつて送られる模様で、これの関連を開いた。

香港

領

44 【頁二十刊夕朝紙本】

はれば九江あたりも 語、英語ニュース、2 語、英語ニュース、2

線陣地

も崩壊す

季捕の運命刻々迫る

世里の路線が完成した ・いでゐたが五日関東石龍 ないでゐたが五日関東石龍

中需品

八日から開設

市華公井都

方面へ移動

曾れ休て

古の紀町太子堂で告記式は大日延去、七日公町東八島通郵政局長票 地頭 政局長

統一政権樹立に



南京、上海を始め各地に澎

倒

事變第二段階ピ

國家總動員法

發動の條項は何か

は、それこそ未替有の時局では、それこそ未替有の時局でなければあり得ないごとである。そこで政府が年末までにどうしても愛動しなければならないと感じて、目下實際に物令案文の整備をしてゐるものは木像才の如きものである。

首相の結成方針

當面の事變處理目的

學國强力國民運動

(=)

日独伊防共協定締結一周年記 を日 を記載して 1 を記載して 1 を記載して 1 を記載して 1 を記載して 2 を記載して 2 を記載して 2 を記載して 3 を記載して 3 を記載して 3 を記載して 3 を記載して 3 を記載して 3 を記載のへのコミンテルン勢力に 1 を記述る 3 を記載のへのコミンテルン勢力の 2 を記載る。これにより全體主義諸國家は 3 を記載を 4 を記載を 4 を記載を 5 を記述を

正金人事異動 「東京國通」横濱正金銀行で 東京東京國通」横濱正金銀行で 東京東店東西人代理 東京東店東西人代理 東京東店東西人代理 南ニューョーク東店副支配人 金井、經常 金十、經常 高田 良磁

(ベルリン五日菱園通)ナチ 最高指揮官の會見談を載せる と共に大亜細型ブロックと は、てる論嗣を掲げ支那の新事態 する論嗣を掲げ支那の新事態 を終る國際納係につき左の 国際に対すでに「明題に於ける ものとなり、東上に於ける ものと数すでに「明盟にかける を関係的がすでに「期望れる を関係的がすでに「期望れる を製る国際が今更米国や でのでは日本の經濟 が、すでに三年期遅れた のをとなり、東上に於ける を製造し得ぬ旨言明が今更米国や でのでに三年期遅れた でのでに三年期遅れた でのでに三年期遅れた でのでに三年期遅れた でのでに三年期遅れた でのとなった。 が、すでに三年期遅れた でのとかった。 でのところつた。 でのと、また。 でのと、 でのとの。 大亞細亞

五日穀國通」國民参政

議決事項

機關紙論ず

事態と

一世の名曲の練

朝 二十卷余の 後篇!! B

卸

日新電機株式會社

精密級特別精密級電氣計器 配電盤及特高配線器具



一下の終始一貫せる誠意 指揮官に左記越旨を傳達する 「下の終始一貫せる誠意 指揮官に左記越旨を傳達する 「下の終始一貫せる誠意 指揮官に左記越旨を傳達する 「下の終始一貫せる誠意 指揮官に左記越旨を傳達する 「下の終始一貫せる誠意 指揮官に左記越旨を傳達する

のと見られてゐる 英國政府の見解 してゐるとの報道は英國政界 の注意を滿いでゐるがハヴァ の注意を滿いでゐるがハヴァ の注意を滿いでゐるがハヴァ の注意を滿いでゐるがハヴァ の注意を滿いでゐるがハヴァ の注意を滿いでゐるがハヴァ の注意を滿いでゐるがハヴァ の注意を滿いでゐるがハヴァ ことが判明すれば英國政界 として左の如く報じてゐる 老しこの報道が興資である ことが判明すれば英國政府 はまどが明明すれば英國政府 はまどが明明すれば英國政府 はまどが明明すれば英國政府 はまどが明明すれば英國政府 はまどの報道が興資である

舊北鐵從業員へ 弾壓益す熾 間諜罪名で續

これに基いて静かに今後の想を練りつい熟慮してゐるので 客觀的情勢の推移と陽聯して あるので ものとして注目されるものがある

七名の文武官に對し定の左の如し、大名の文武官に對し定

五日堀田大使以下三千二百卅 (東京國通) 長きあたりでは 堀田大使以下に

治安維

0

々處刑

限クラブに報じ悪蔵會を催し 長招宴 長招宴 後四時よ は毎日午 後四時よ

納ちず

宗教團體法案

出前迅速

Tall 1

八七

第一生命新京支部所奏

佐藤 武男 二八七五十

150 亭りない通条二東

外務社員招聘

酒保用品

ふ軍需展

らぬ人造毛皮、銅及を

第五分會連勝

熱戦に揚る銃後郷軍意氣

誠報國週間

練習艦

隊來る

を機會に

けふから國民精神作興週間

眞實の滿洲の姿を

面骨日九日午前中、本人履歴書持念身體强健にて高等女學校卒業程度、

淋

岗

根

女子事務員募集

來談のこと

富士町三丁目二番地

日本賣藥鰈新京出張所

掃されよ)

的確なる根治療法に依り悩みを

東京樂生堂田日線新京療院

新京説町二ノ四(西木服寺西購入)

一般慢性病專門

東漢をつくるものとして注目 契漢をつくるものとして注目

日大安の賞道吉日とて新京神 大日の日曜日も市街は行歌の 人々で服はつてゐたが、この 神前の慶び に六組

社の社頭は神

本

七日日

(第一月曜)

は

○ 大組が最適に撃式された

○ 牡丹江省東京城宇野憲二郎

本一郎氏(三二)と永昌胡同第一

大一郎氏(三二)と永昌胡同第一

大一郎氏(二六)と端郷本八重合人(二六)と端本八重合人(二六)と流過三四福信ビル屋野大井の1さん(二六)と流過でル屋野大井の10と方は報表が三世紀(二六)とを繋本八重と方とは、二二)と前の第二郎(二二)と方子さん(二二)と前の第二郎(二二)と方子さん(二二)と前の第二郎(二二)と前の第二郎(二二)と前の第二郎(二二)と前の第二郎(二二)と前の第二郎(二二)と前の第二郎)と示された。

正休日4年作勝手休業

します

第一、第三月曜日

見たい ード嬢來京談 ミ思ふ

オ自動車で

放送部張り

込む

が期待されてゐる。

特派員ジェーン。

移動放送局

の動支那は非常に宣傳がうるをなした。 をなした。 をないであます。この點支那は非常に宣傳がうると思います。 を経て致支那、印度、この點日 なが要があると思います。 での話をである。 の動力を検信がに世界に での話と、 に世界に のいます。 のいまする。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいまする。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいまする。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいまする。 のいます。 のいま。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいま。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいます。 のいまな。 。 のいま。 。 のいま。 。 のいま。 。 のいま。 のい。 。 のいま。 。 のいま。 。 のい。 のい。 。

正誤 本級五日朝刊五面掲載聯合農告中 大辰

品自

堡由

酒道

=]

9

②四八三八 大五八五番

に種々御迷惑を相懸けて居りましたがらどうぞ倍舊のじます就きましては同店では店舗狹溢のため御得意様各位扱工の所に含業中は格別なる御愛顧を賜り誠に有難ふ存扱、運町に於て營業中は格別なる御愛顧を賜り誠に有難ふ存物、の御事で御慶び申上げます。

來通り營業を致す事に

を賜り度く

申上げます。中上げます。四八五六番と變更致しましたからよろし

御挨拶旁々御願ひ申上げます

新京豊樂路七一四(モンテカルロ前)

話服





燃燒相談所常

新京の好成績に刺戟され

哈市、奉天に呼

第 2 最高 一〇能五



開 業

した何卒舊に倍して御厚誼御引廻しのほど伏て御願ひ申上ますくこの度『うつ怪』と名のり木の香も高く新樂開業いたすことゝなりまなし難く存じましたが大方樣のおすゝめもあり生れ故郷の大阪なつかしさて私方の「きよ事」永年の間誠實に相勤めくれましてなかくしに手ば向寒の折柄にも不拘いよく「御健勝の段慶賀の至りに存じ上ます 香りもきよきうつぼかな」

ます何卒これまで同樣の格別の御厚誼を賜り是非人一御來駕のほど伏てみれに居りました節は一方ならぬ御引立を蒙りありがたく厚く御禮申上この度御主人のお許しを得まして漸く竣工開業の運びと相成りましたす

4

電新京梅ケ枝

光、さの観と云ふ遊女母で一人娘の欠は長兵衛の はりやり繰りつかず、日 りをす、イコーへ暮り

はらしい数に難して、それは言へ一「えフ」で

不っないなるは後書似にどざります

●新京梅ケ被町三ヶ十 ・※ 派遣婦會 ・※ 派遣婦會

タイプ印書

際寫・代書

英金 選 英金 承 漢

電三、四二五五

眼科

橘家圓さん

文七天結

t、OOニュース 「製品











產業開發

合名會社

藤

田

"なにツ、暴難の知れぬ程面が…

印刷及帳簿

三友社

帳簿專門













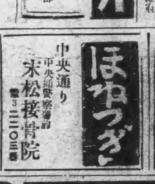


1

機械工具專門店奉天浪逐通

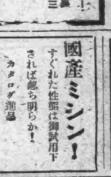
















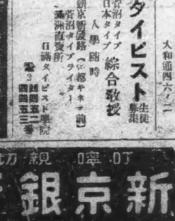
所 在 地張所



小澤・荒井 (夜)

なが、東三馬路 日温會の人を求めたき者 井に木舎へ 生命が頭に迷ぶ者 井に木舎へ

古州タイプ 終合教授 日本タイプ 終合教授 所書が優略(京都キネマ前) 情別タイプライタ」











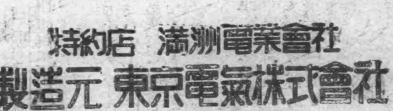














・ 五の朝の音樂 (大連) (大連) (大連) (大連) (大連) いつか金襴が来て立つてゐた。

かけたが、乾燥の見す 「はツ、複数ながら……」

トラマ 仲屋 七夢以 ・ 中 伊 一 七 で ・ 東京)

『どうしたと時す…… 家來は、口種った。) それがそり…

大成社ので一は大日和田へ場所標本町四の二六 トラックの国用は

カンバン





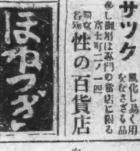
お茶道具は新茶道具は

一四人四 南海社





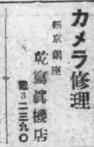
それの分らぬ想は、脚がつかへの匿を攻く報つて来るかどうか、













高場が蘇田洋行

ENOW YOUNG

自機

抓

旲

















